

津市の授業が変わります！

津市教育委員会
(令和6年10月作成)

多様な子どもたち一人一人に応じた学びを実現させるために、本市においては、これまでの教師主導の一方の斉授業だけでなく、一人一人の子どもが主人公となり、それぞれのよさや可能性を引き出す授業を目指した授業改善を進めます。



上の二次元コードから
家庭学習マニュアルに
ついての
説明をご覧くださいませ

「教師が教える」から「子どもが学ぶ」へ

今まで

一斉授業



教師の話を中心の授業



教師の指示で端末使用



教師の指示でペアグループ活動



挙手する子ども中心授業が進む

家庭学習



決められた内容を決められた分だけ取り組む

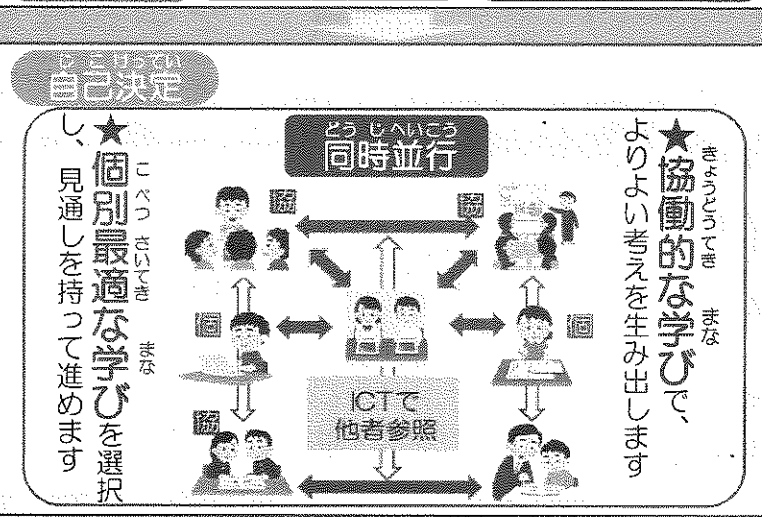
これから

子どもたちが一人一人が主人公になる授業

導入 一斉指導

めあてや学習過程の確認

考えてみたいと思う導入・動機付け



振り返り 一斉指導

自分の学びを整理して、次の学びに生かします

自己決定 授業と連動した家庭学習

予習型 次授業の予習学習

深化型 興味を持った課題の探究

復習型 定着のための練習問題

①インプットとアウトプットを繰り返します

授業で得た知識や情報をノートにまとめたり、友達に伝えたりすることで、自分の意見が整理されたり、よりよい考えが生まれ、さらなる学びの定着につながります。

②自分に合ったペースで学びます

子どもたちは、学びの目標をもとに計画を立て、見通しを持って学習を進め、授業の終わりには、自分の学びを振り返り、次の学びにどう生かしたいのかを考えます。

見通し!

大切にしたい4つのポイント

③豊かな学習環境のもとで学びます

子ども一人一人が自律して学ぶことができる学習環境の中で、これまでの教師から学ぶ授業に加え、子どもたち自らが、それぞれのニーズに応じた支援を受けながら学習します。

④タブレット端末を効果的に活用します

例えば、ICT機器を使うことで教師から子どもへの一方通行の学習から、双方向での学習を行うことができます。また、子どもたちが必要とするタイミングでお互いの考えを瞬時に共有することができます。(他者参照)

「やりたい!」が高まる家庭学習へ

家庭学習には、①知識や技能を定着させる、②学びを日常生活につなげるといった大きな役割があります。授業では、時間が足りなかったり、個別の課題に対応できなかったりすることもあるため、それを補うことができます。また、教科の枠組みを超えて、知識・技能が活かされる場面を作ることができます。

子どもたちが「学習は楽しいものだ」という意識を持つことで、「頑張ろう!」「やりたい!」という気持ちにつながっていきます。

知識・技能を定着させる

●漢字や計算などは、繰り返し問題に取り組むことで、力をつけていくことができます。

- (例えば)
- ・ 苦手を重点的に行う漢字練習
 - ・ 間違いやすい漢字のポイントを学習
 - ・ 自信を持って書ける漢字は熟語や文で練習
 - ・ 時間を意識した計算練習(5分で何問解けるか等)



学びを日常生活につなげる

●身に付けた知識・技能を活用し、さらに深く追求することで、考える力が身につく、達成感を味わうことができます。

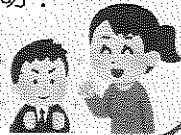
- (例えば)
- ・ タブレットを活用したプレゼンづくり
 - ・ 「おすすめの本のCM」、「好きな●●を紹介しよう」
 - ※ 分かりやすい文章を考えたり、写真と文を組み合わせたり、表やグラフなどを活用したりします。
 - ・ 「?」を解決する調べ学習
 - ・ 地図帳で空想旅行に行こう



家庭学習のポイント

やる気をほめる

「できたこと」だけでなく、「やろうとしたこと」をほめることが大切! やる気をほめてあげることで、「次もまた頑張ろう」という気持ちにつながります。



いっしょに喜ぶ

できるようになって「うれしい」という気持ちを共有することで、そのことが、成功体験として、子どもの心に残ります。そして、そのことが自信につながっていきます。



アドバイスをする

横で見ていると、ついアドバイスしたくなるものです。アドバイスのタイミングは、子どもからヘルプが出たときです。



学ぶ環境をつくる

学習環境づくりには、ご家族の協力が大切です。必要に応じてテレビを消したり、一緒に本を読んだりするなど、学ぶ雰囲気をつくりましょう。



こちらをご覧ください!

子育てリーフレット
子どもの未来をともに拓く

子どもの成長に、一人一人の大人が、主体的に関わることで子どもの学びや生活の基盤を育てていきたい、そして、『子どもたちの未来をともに拓いていきたい』と願い作成したリーフレットです。

